

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第12週 （3月20日～3月26日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第11週の11.31から第12週は8.13と減少しています。県内全域で減少していますが、幡多では引き続き注意報値を超えていることから注意が必要です。

迅速検査ではインフルエンザA型が92.23%、B型7.77%とB型がやや増加しています。

また、病原体検出情報では第12週に搬入された検体で須崎からInfluenza virus A H3 NT が2件検出されています。

学校等における集団発生の報告は、休校が1件となっています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数は第10週の11.09から第11週では10.33と減少しています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2017年第7～11週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く82.30%、次いでB（ビクトリア系統）が9.81%、B（山形系統）5.76%、AH1pdm09が2.13%の順でした。

県内におけるインフルエンザの報告数はピーク時（第5週：50.60件/定点）の約1/6に減少しましたが、流行は続いていますので、外出後の手洗い等の感染予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生する水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- (1) 咳・くしゃみが出たらマスクをしましょう。
- (2) 鼻汁・痰などを含んだティッシュはフタつきのゴミ箱に捨てましょう。
- (3) 咳・くしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに洗いましょう。
- (4) 咳をしている人にマスクの着用をお願いします。
- (5) マスクの装着は説明書を読んで、正しく着用しましょう。

■ 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いとされています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザQ&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

幡多で注意報値である4.00を超えています。

定点医療機関からの報告数は第11週の2.37から第12週では1.73と減少していますが、中央西で急増、中央東で増加し、幡多では7週連続して注意報値を超えています。

感染症情報収集システム※でも溶連菌感染症として8例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第 11 週の 4.50 から第 12 週では 3.53 と減少しています。県全域から報告があり、中央西で急増しています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルス 5 例、ロタウイルス 1 例の報告があり、病原性大腸菌 O15 腸炎 1 例、病原性大腸菌 O125 腸炎 1 例、病原性大腸菌 O6 腸炎 1 例、病原性大腸菌 O1+カンピロバクター腸炎 1 例、サルモネラ菌 1 例の報告がありました。感染症情報収集システム※でも 6 例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

また、病原体検出情報では第 11 週に臨床診断名、感染性胃腸炎として搬入された検体で高知市と中央東から Adenovirus 2 が 1 件、*Staphylococcus aureus* V が 1 件、10 週に中央西から搬入された検体で Adenovirus 2 が 1 件検出されています。

乳幼児や高齢者、体力の低下している方は下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長いときには 1 ヶ月程度ウイルスの排泄が続くことがあります。

例年、3 月から 5 月頃にかけて乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎の流行が認められるようになります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

調理をする場合には、中心部まで十分に加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●厚生労働省「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

●厚生労働省「ロタウイルスに関する Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/Rotavirus/>

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で 3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。

予防するためのワクチン等はありません。マダニは野外に生息しています。

暖かくなるとダニの活動が活発になり、人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。






●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症







<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

●高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

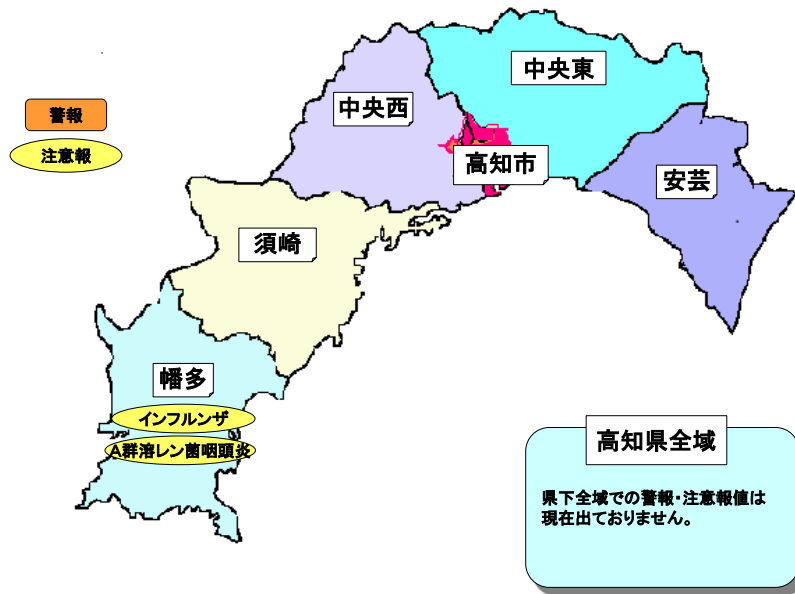
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
12週（3月20日～3月26日）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
インフルエンザ		8. 1 3	須崎、安芸で急減、県全域、幡多、中央東、中央西で減少しています。幡多では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎		3. 5 3	中央西で急増しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		1. 7 3	中央西で急増し、中央東、幡多で増加し、幡多では7週連続で注意報値を超えています。
突発性発疹		0. 3 7	幡多、須崎で急増しています。
水痘		0. 2 0	安芸で急増、高知市で増加しています。
流行性耳下腺炎		0. 2 3	県全域と須崎で急増しています。

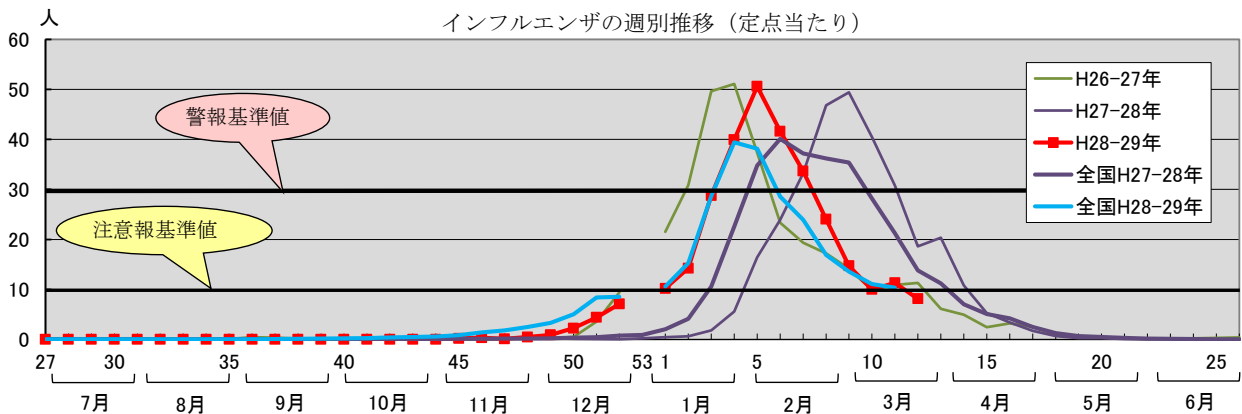
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

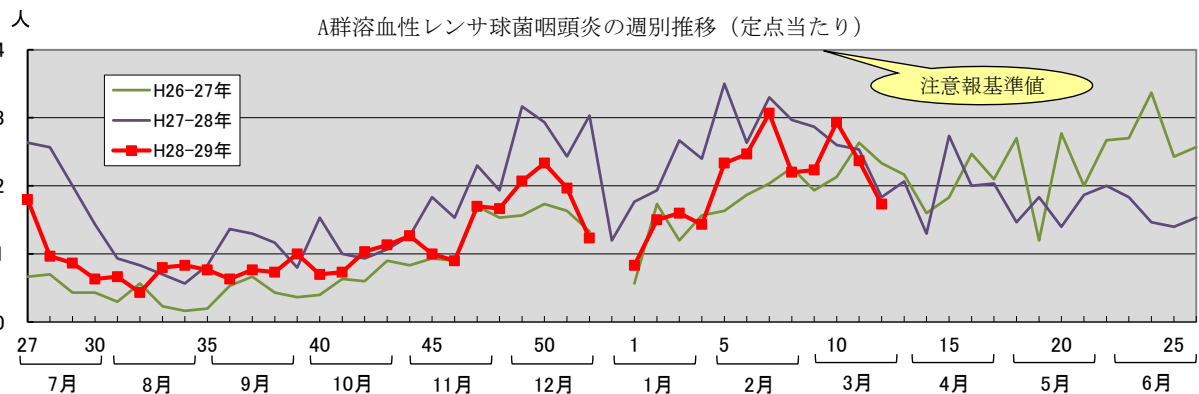
○インフルエンザ 第12週：8.13 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 8.13 (前週：11.31) と減少しています。幡多 12.00 (前週：18.63) では注意報値を超えています。



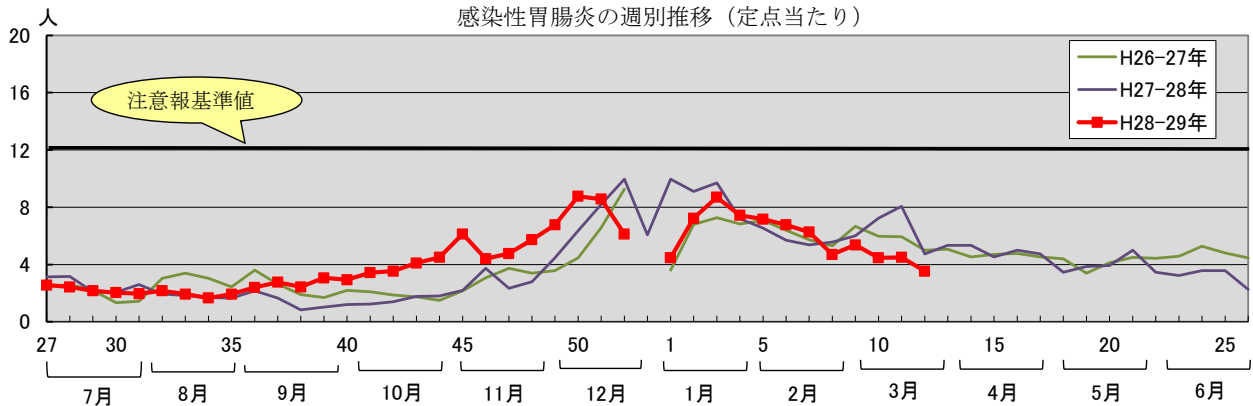
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第12週：1.73 (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.73 (前週：2.37) と減少しています。中央西 2.67 (前週：0.67) で急増、中央東 0.57 (前週：0.29)、幡多 6.00 (前週：5.40) で増加し、幡多では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第12週：3.53 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.53 (前週：4.50) と減少しています。中央西 1.67 (前週：0.67) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H26-H27年とH28-H29のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
12	インフルエンザ	37℃, 咳漱,	81	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
12	インフルエンザ	40℃, 腹痛, 関節痛,	7	男	須崎	Influenza virus A H3 NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
11	感染性胃腸炎, 心肺停止	嘔吐, 嘔気,	7ヶ月	男	高知市	Adenovirus 2
11	感染性胃腸炎	下痢,	1	女	高知市	Staphylococcus aureus V

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
10	感染性胃腸炎	38℃, 嘔吐, 嘔気,	9ヶ月	男	高知市	Adenovirus 2
10	咽頭結膜熱	39℃, 下気道炎,	6	男	幡多	Adenovirus 3

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	2	22	80歳代男	中央東
				90歳代女	須崎
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	6	70歳代男	高知市
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2	40歳代女	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	hMP 気管支炎 2 例 (1 歳 女 2 名)
中央東	高知大学医学部附属病院小児科	ヒトメタニューモニア気管支炎 1 例 (6 ヶ月 女) ヒトメタニューモニア肺炎 1 例 (1 歳 女)
	おひさまこどもクリニック	インフルエンザ A 陽性 31 例 (21 日 23 例、22 日 4 例、24 日 2 例、25 日 2 例)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ 3 例 (全て A 型：ワクチン未接種)
	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 1 例 (13 歳) 感染性胃腸炎増多 (ノロは否定)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (10 歳 女)
		病原性大腸菌 O-15 腸炎 1 例 (43 歳 女)
		病原性大腸菌 O-125 腸炎 1 例 (6 歳 女)
		病原性大腸菌 O-6 腸炎 1 例 (10 歳 男)
	高知医療センター小児科	病原性大腸菌 O-1+カンピロバクター腸炎 1 例 (5 歳 男)
		サルモネラ菌 1 例 (4 歳 女)
		アデノウイルス 1 例 (7 歳 女)
三愛病院小児科	インフルエンザ 1 例 (2 歳 女)	
福井小児科・内科・循環器科	アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳 男)	
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A 型 5 例、B 型 2 例 (ワクチン接種済み 1 例)
	石黒小児科	感染性胃腸炎 1 例 (2 歳 男：高知市)
須 崎	もりはた小児科	インフルエンザ A 型 1 例
		インフルエンザ A 型 2 例、B 型 1 例
		マイコプラズマ肺炎 2 例 (4 歳 女、7 歳 女)
		帯状疱疹 1 例 (8 歳 男)
幡 多	さたけ小児科	感染性胃腸炎ノロ 2 例、ロタ 1 例
		ノロウイルス 1 例 (3 歳 女)
		ヘルペス歯肉口内炎 1 例 (4 歳 男)
	幡多けんみん病院小児科	インフルエンザ A 型 27 例
	松谷内科	hMPV 陽性 3 例 (3 歳 女、4 歳 男、5 歳 女) ノロウイルス陽性 2 例 (53 歳 女、75 歳 男)

★全国情報

第 10 号 (3 月 6 日～3 月 12 日)

1 類感染症：報告なし

2 類感染症：結核 288 例

3 類感染症：細菌性赤痢 2 例、腸管出血性大腸菌感染症 10 例、パラチフス 1 例

4 類感染症：E 型肝炎 6 例、A 型肝炎 9 例、エキノコックス症 1 例、オウム病 1 例、

重症熱性血小板減少症候群 1 例、デング熱 1 例、日本紅斑熱 1 例、レジオネラ症 13 例

5 類感染症：アメーバ赤痢 11 例、ウイルス性肝炎 4 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 9 例

急性脳炎 8 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5 例、後天性免疫不全症候群 24 例

侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 例、侵襲性肺炎球菌感染症 42 例

水痘 (入院例に限る) 7 例、梅毒 62 例、播種性クリプトコックス症 1 例、風しん 3 例

麻しん 7 例

報告遅れ：E 型肝炎 3 例、デング熱 1 例、レジオネラ症 2 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 13 例

急性脳炎 3 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5 例、侵襲性髄膜炎菌感染症 1 例、

水痘 (入院例に限る) 1 例、梅毒 28 例、播種性クリプトコックス症 2 例

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、薬剤耐性アシネトバクター感染症 1 例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第12週 平成29年3月20日(月)～平成29年3月26日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(11週)	高知県(12週未累計) H29/1/2～H29/3/26	全国(11週未累計) H29/1/2～H29/3/19
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
小児科	インフルエンザ	9	98	142	30	15	96	390 (8.13)	543 (11.31)	50,976 (10.33)	13,787 (287.23)	1,173,630 (236.76)
	咽頭結核熱			2				2 (0.07)	2 (0.07)	1,224 (0.39)	64 (2.13)	11,956 (3.78)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	9	8	1	30	52 (1.73)	71 (2.37)	8,188 (2.60)	741 (24.70)	75,106 (23.75)
	感染性胃腸炎	5	25	40	5	3	28	106 (3.53)	135 (4.50)	18,275 (5.80)	2,118 (70.60)	200,988 (63.56)
	水痘	3	1	3				7 (0.23)	6 (0.20)	1,178 (0.37)	128 (4.27)	12,546 (3.97)
	手足口病							()	()	358 (0.11)	15 (0.50)	5,078 (1.61)
	伝染性紅斑		1					1 (0.03)	1 (0.03)	229 (0.07)	48 (1.60)	2,868 (0.91)
	突発性発疹		3	4		1	3	11 (0.37)	8 (0.27)	1,368 (0.43)	102 (3.40)	12,985 (4.11)
	百日咳							()	1 (0.03)	27 (0.01)	12 (0.40)	257 (0.08)
	ヘルパンギーナ							()	()	70 (0.02)	2 (0.07)	808 (0.26)
流行性耳下腺炎			2		5		7 (0.23)	3 (0.10)	1,940 (0.62)	83 (2.77)	22,763 (7.20)	
RSウイルス感染症			1			1	2 (0.07)	3 (0.10)	690 (0.22)	172 (5.73)	10,411 (3.29)	
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	8 (0.01)	()	81 (0.12)
	流行性角結膜炎							()	1 (0.33)	315 (0.46)	6 (2.00)	3,713 (5.37)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	1 (0.13)	96 (0.20)
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	()	19 (0.04)	3 (0.38)	167 (0.35)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.13)	2 (0.25)	135 (0.28)	41 (5.13)	2,498 (5.24)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	1 (0.13)	5 (0.01)	5 (0.63)	68 (0.14)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)						1	1 (0.13)	2 (0.25)	278 (0.59)	9 (1.13)	1,043 (2.19)
計 (小児科定点当たり人数)	17 (6.25)	132 (13.76)	205 (14.42)	43 (10.34)	25 (8.75)	159 (24.40)	581 (14.39)			85,293	17,337 (403.40)	1,537,062
前週 (小児科定点当たり人数)	29 (10.00)	182 (18.99)	237 (16.86)	60 (12.94)	52 (17.00)	219 (32.23)		779 (18.98)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(11週)	高知県(12週未累計) H29/1/2～H29/3/26	全国(11週未累計) H29/1/2～H29/3/19
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
小児科	インフルエンザ	2.25	8.91	8.88	6.00	3.75	12.00	8.13	11.31	10.33	287.23	236.76
	咽頭結核熱			0.18				0.07	0.07	0.39	2.13	3.78
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	0.82	2.67	0.50	6.00	1.73	2.37	2.60	24.70	23.75
	感染性胃腸炎	2.50	3.57	3.64	1.67	1.50	5.60	3.53	4.50	5.80	70.60	63.56
	水痘	1.50	0.14	0.27				0.23	0.20	0.37	4.27	3.97
	手足口病									0.11	0.50	1.61
	伝染性紅斑		0.14					0.03	0.03	0.07	1.60	0.91
	突発性発疹		0.43	0.36		0.50	0.60	0.37	0.27	0.43	3.40	4.11
	百日咳								0.03	0.01	0.40	0.08
	ヘルパンギーナ									0.02	0.07	0.26
流行性耳下腺炎			0.18		2.50		0.23	0.10	0.62	2.77	7.20	
RSウイルス感染症			0.09			0.20	0.07	0.10	0.22	5.73	3.29	
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.12
	流行性角結膜炎								0.33	0.46	2.00	5.37
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.20
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.04	0.38	0.35
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	0.25	0.28	5.13	5.24
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.13	0.01	0.63	0.14
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)						1.00	0.13	0.25	0.59	1.13	2.19
計 (小児科定点当たり人数)	6.25	13.76	14.42	10.34	8.75	24.40	14.39			403.40		
前週 (小児科定点当たり人数)	10.00	18.99	16.86	12.94	17.00	32.23		18.98				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869